

熊本大学の 男女共同参画への挑戦

熊本大学 男女共同参画コーディネーター
緒方 洋子

これまで熊本大学では、熊本県と連携して男女共同参画事業に取り組んできた経緯があります。そのひとつが平成12年度から平成17年度まで開設された「熊本県男女共同参画協働政経塾」です。この事業は県と県内3大学(学園大学、県立大学、熊本大学)の事務局を熊本大学が担い、毎年400人以上の県民の啓発、女性の能力活用支援などの実績を出しています。

しかし、熊本大学の現状は、育児や介護に直面した女性研究者のキャリア継続が困難となる事例が多く、女性研究者のキャリアパス^{*1}環境整備が急務となっていました。このこ

とは日本の大半の大学においても同じことで、文部科学省が平成17年度に公募した「女性研究者モデル育成事業」には、全国から36の大学の公募が寄せられ、その中から10大学の採択があり、熊本大学の「地域連携によるキャリアパス環境整備^{*2}」が採択され、この事業を推進するため、同学内に「熊本大学男女共同参画推進室」が設けられました。

熊本大学男女共同参画推進室では、セミナーで啓発を図りながら、全教職員の男女共同参画意識調査を行い、回収率49.4%の調査結果による考察と今後の展望をまとめました。その「課題解決」と「全学的な男女共同参画推進体制の整備」に向けて、今年3月26日には「熊本大学男女共同参画推進基本計画」(平成28年度までの10ヵ年計画)が策定されました。

熊本大学は『女性がもっと活躍できるキャンパス』に向かって、大きな一歩を踏み出したのです。

(熊本大学<http://gender.kumamoto-u.ac.jp>)

※1 キャリアパス…職階級のステップアップを図ること

※2 地域連携によるキャリアパス環境整備…大学が行政、企業、NPO等との連携を図り、研究と育児、介護の両立のために改善策を講じる事によってキャリアパス環境整備を図ること



“女性に優しい環境づくり”をテーマに「女性研究者支援モデル育成」に取り組む熊本大学のチラシ